



松田産業株式会社

2023年3月期 第2四半期決算説明会

2022年11月25日

イベント概要

[企業名]	松田産業株式会社
[企業 ID]	7456
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2023 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会
[決算期]	2022 年度 第 2 四半期
[日程]	2022 年 11 月 25 日
[ページ数]	16
[時間]	16:00 – 16:25 (合計：25 分、登壇：25 分)
[開催場所]	インターネット配信
[会場面積]	
[出席人数]	
[登壇者]	2 名 代表取締役社長 松田 芳明 (以下、松田) 執行役員 CSR・IR 部長 田中 善則 (以下、田中)

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



登壇

松田：松田産業株式会社、代表取締役社長の松田でございます。本日は皆様、大変お忙しい中、当社の決算説明をご視聴いただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、これより2023年3月期上期の決算概要をご説明いたします。

○ 連結業績 (2023年3月期/上期)

単位：億円

	22/3期上期 (前期)	23/3期上期 (当期)	前年同期比 増減(率)		22/3期通期 (前期)	23/3期通期 (当期予想)	前期比 増減予想(率)	
売上高	1,360	1,760	+399	+29.4%	2,722	3,300	+577	+21.2%
営業利益	72	79	+6	+9.4%	126	128	+1	+0.9%
営業利益率	5.3%	4.5%	-0.8pt	-	4.7%	3.9%	-0.8pt	-
経常利益	78	81	+2	+3.7%	137	133	-4	-3.2%
四半期純利益	54	56	+1	+3.0%	95	93	-2	-2.7%

- ・2023年3月期上期では、売上高は前年同期比29.4%の増収、営業利益は9.4%の増益。
- ・貴金属関連事業、食品関連事業共に販売数量の好調と販売単価の上昇などを要因に、2022年8月公表の業績予想（上期）を上回る結果。

2023年3月期上期の連結業績数値の概要でございます。

本年度の上期の売上高は貴金属関連事業、食品関連事業、ともに数量面で全体的に好調であったことに加えて、販売単価の上昇などもあり、前年同期比29.4%増収の1,760億円となりました。

営業利益は前年同期比9.4%増益の79億円となり、経常利益では当社が30%の株式を保有します日鉄マイクロメタルの持分法投資利益などを含み、前年同期比3.7%増益の81億円となりました。

これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比3%増益の56億円となり、上期での売上高や各段階利益はいずれも過去最高の実績になりました。

2023年3月期上期の連結業績に関する概略は以上の通りでございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

続いて、業績予想を改めてお伝えいたします。通期の連結業績は、売上高は 3,300 億円、営業利益は 128 億円、経常利益は 133 億円、当期純利益は 93 億円と予想しております。売上高のみ今年 8 月に修正した業績予想から上方修正いたしました。

詳細は後ほどご説明いたしますが、下期においては貴金属関連事業の主要顧客である半導体・電子デバイス業界では、需給バランスが調整に転じて生産停滞が見込まれ、市場環境には鈍化が予想されます。そのため、通期の業績見通しにおいて営業利益、経常利益、当期純利益は予想を据え置いております。

○ セグメント別の業績（2023年3月期/上期）

貴金属関連事業

単位：億円

	22/3期上期 (前期)			23/3期上期 (当期)			前年同期比増減	
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計		
売上高	497	469	967	639	630	1,269	+302	+31.3%
営業利益	34	24	59	34	31	66	+7	+12.0%
営業利益率	6.9%	5.3%	6.1%	5.5%	4.9%	5.2%	-0.9%pt	-

- ・売上高は前年同期比31.3%増収。営業利益は前年同期比12.0%増益。
- ・半導体・電子デバイス分野の堅調な生産活動。
- ・貴金属リサイクルの取扱量の増加に伴う、金/銀/白金族製品等の販売量の増加。
- ・金などの貴金属相場の上昇に伴う、販売単価の上昇。
- ・産業廃棄物の処理受託の増加。

※セグメント別売上は外部売上高を使用しております。

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

 松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

4

次に、セグメント別の業績をご説明いたします。

初めに、貴金属関連事業になります。

当事業の売上高は前年同期比 31.3%増収の 1,269 億円、営業利益は前年同期比 12%増益の 66 億円となりました。

当事業の主力顧客であります半導体・電子デバイス業界では、半導体不足や中国のゼロコロナ政策として行われたロックダウンの影響などにより、スマートフォンや自動車の生産には停滞感がありましたが、データセンター需要の好調などもあり、同業界の生産活動は総じて堅調に推移いたしました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

このような市場環境の中で、当社グループでは、資源リサイクルの総合力を活かし、また高機能電子材料の開発などによる差別化を進め、貴金属原材料の集荷拡大や化成品などの製商品販売ならびに産業廃棄物の処理受託拡大に取り組みました。

その結果、貴金属リサイクルの取扱量や産業廃棄物の処理受託では順調に増加し、金製品、銀製品、白金製品などの販売量増加に加え、金などの貴金属相場の上昇もありましたので、前年同期に比べ増収増益となりました。

○ セグメント別の業績 (2023年3月期/上期)

食品関連事業

単位：億円

	22/3期上期 (前期)			23/3期上期 (当期)			前年同期比増減	
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計		
売上高	203	189	393	242	247	490	+96	+24.6%
営業利益	7	5	13	7	5	13	-0	-1.8%
営業利益率	3.8%	3.1%	3.5%	3.2%	2.3%	2.7%	-0.7%pt	-

- ・売上高は前年同期比24.6%増収。営業利益は前年同期比1.8%減益。
- ・食品製造業界は、外食産業向け業務用商品をはじめ持ち直しの傾向がある一方、原材料価格の上昇や、円安に伴う値上げ発表による節約志向の高まりにより、厳しい状況。
- ・水産品、農産品の販売量は増加、全体的に販売単価は上昇。

※セグメント別売上は外部売上高を使用しております。

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

5

次に、食品関連事業でございます。

当事業の売上高は、前年同期比 24.6%増収の 490 億円、営業利益は前年同期比 1.8%減益の 13 億円となりました。

当事業の主力顧客であります食品製造業界では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限などが解除されたことにより、外食産業向けの業務用商品をはじめ需要に持ち直しの傾向が見られましたが、原材料価格の上昇や急激な円安に伴う末端商品の相次ぐ値上げにより、消費者の節約志向が継続するなど総じて厳しい状況になりました。

このような市場環境の中で、当社グループでは、世界的な食資源の供給不安や価格上昇などに柔軟に対処して、多様化する顧客ニーズに応えた商品の開拓と安全安心な商品の安定供給により、水産品、農産品の販売量は増加いたしました。

サポート

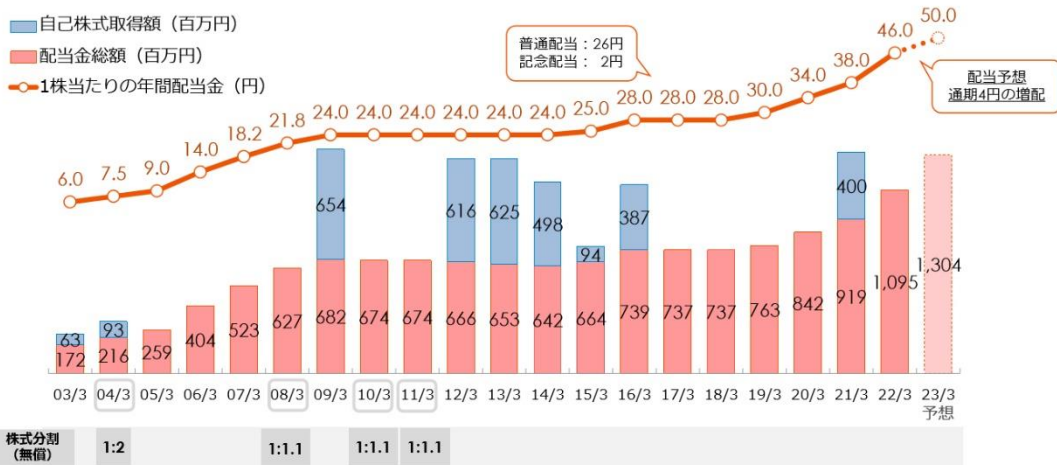
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

また、全体的に販売単価が上昇したこともあり売上高は増加しましたが、運送費や保管料などの販売経費の増加により、前年同期比でわずかに減益となっております。

株主還元

成長投資のための内部留保とのバランスを考慮しつつ、株主様への安定かつ持続的な配当を実施する事により、株主様の期待に応えてまいります。
 なお、配当については、通期で4円増配の50円を予想しており、5期連続の増配となります。



Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.



6

続きまして、株主還元についてご説明いたします。

当社は、成長性を捉えた事業機会への最適な資源配分、財務健全性の確保、株主還元のバランスを考慮して、持続的な企業価値の向上を目指すことを資本政策の基本方針としております。

その中で、株主還元につきましては、安定かつ持続的な配当の実施と時機に応じた機動的な自己株取得により、株主様の期待に応えてまいります。

2023年3月期の配当金につきましては中間配当金は25円とし、期末配当金も25円を予定しております。通期では前期に比べ4円増配予想となります。これにより、配当については5期連続の増配を予想しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



・脱炭素への取り組み



・ 温室効果ガスの削減目標設定
(Scope 1 + 2、Scope3)

・ SBTコミットメントの実施
(削減目標の認定取得へ)



・ TCFDへの賛同表明

・ TCFD提言に基づく開示実施へ

私からは、最後に、中期経営計画でも成長戦略の基本方針に掲げておりました ESG 経営の推進につきまして、進捗をお話させていただきます。

当社グループは、重要課題の一つである環境負荷低減について脱炭素の取り組みを最優先とし、進めております。当社グループでは、温室効果ガス排出量の削減目標につきまして世界的なコンセンサスであります気温上昇 1.5 度に設定し、国際的なイニシアティブである SBT の認定を受けるべく、先般 SBT へのコミットメントを行っております。

また、脱炭素への取り組みは情報開示も重要になりますので、TCFD 提言に基づいた開示も今後進めてまいります。

なお、当社では、この 10 月に TCFD への賛同も表明しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

～環境負荷低減型・めっき用化成品(ECO PGC 683)の販売・提供を拡大～



ECO PGC 683

当社は、歴史ある金属回収・精製企業としての使命から、リサイクル金(Au)を100%原料に使用した、めっき用化成品(ECO PGC 683)を、工程認証を受け製造しています。

今後もECOシリーズの製造を拡大し、事業を通じて社会からの要求に応えてまいります。

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

 松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

8

貴金属関連事業では、環境負荷低減への貢献としまして、リサイクル金を100%原料として製造した、めっき用化成品の製品名 ECO PGC をお客様に販売、提供しております。

この ECO PGC は、100%リサイクル金を原料とした製品として工程認証を受けております。今後も ECO シリーズの製造をさらに拡大し、事業を通じてお客様や社会から要求に応えてまいります。

皆様からのより一層のご支援をお願い申し上げ、私からのご説明は以上とさせていただきます、引き続き CSR・IR 部より決算内容の詳細、設備投資の状況などにつきましてご説明いたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

○ 連結貸借対照表・キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

(連結)	22.3末	22.9末	増減	主な増減要因
流動資産	860	972	+111	棚卸資産+67、売上債権+39
固定資産	297	384	+87	土地・建物等
資産合計	1,157	1,357	+199	
流動負債	335	362	+26	長短借入金+132、買掛金+17
固定負債	77	179	+101	
うち有利子負債	163	295	+131	
負債合計	413	541	+128	
純資産合計	744	815	+71	
負債純資産合計	1,157	1,357	+199	
自己資本比率	64.2%	60.0%	-	

	21.4-9	22.4-9	増減
営業キャッシュ・フロー	84	▲ 37	▲ 122
投資キャッシュ・フロー	▲ 11	▲ 94	▲ 83
フリーキャッシュ・フロー	72	▲ 132	▲ 205
財務キャッシュ・フロー	▲ 51	123	+174

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

 松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

10

田中：IRを担当いたします、執行役員の田中でございます。

ここからは、決算内容の詳細といたしまして、連結貸借対照表およびキャッシュ・フロー計算書、セグメント別売上高、営業利益の概要、通期の業績予想、ならびに設備投資の状況につきましてご説明いたします。

初めに、連結貸借対照表をご説明いたします。

資産につきましては、棚卸資産、売上債権の増加などで流動資産が111億円増加し、北九州市ならびに入間市に取得しました土地や建物の増加などで固定資産が87億円増加したことにより、総資産は前期末に比べ199億円増加の1,357億円となりました。

負債につきましては、長短借入金、買掛金の増加により、流動負債が26億円、固定負債が101億円それぞれ増加しておりますので、負債合計では前期末に比べ128億円増加の541億円となりました。

純資産につきましては、主に利益剰余金の増加により前期末に比べ71億円増加し、815億円となっております。

なお、8月に自己株式200万株の償却を実施しており、利益剰余金と自己株式がそれぞれ24億円減少しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

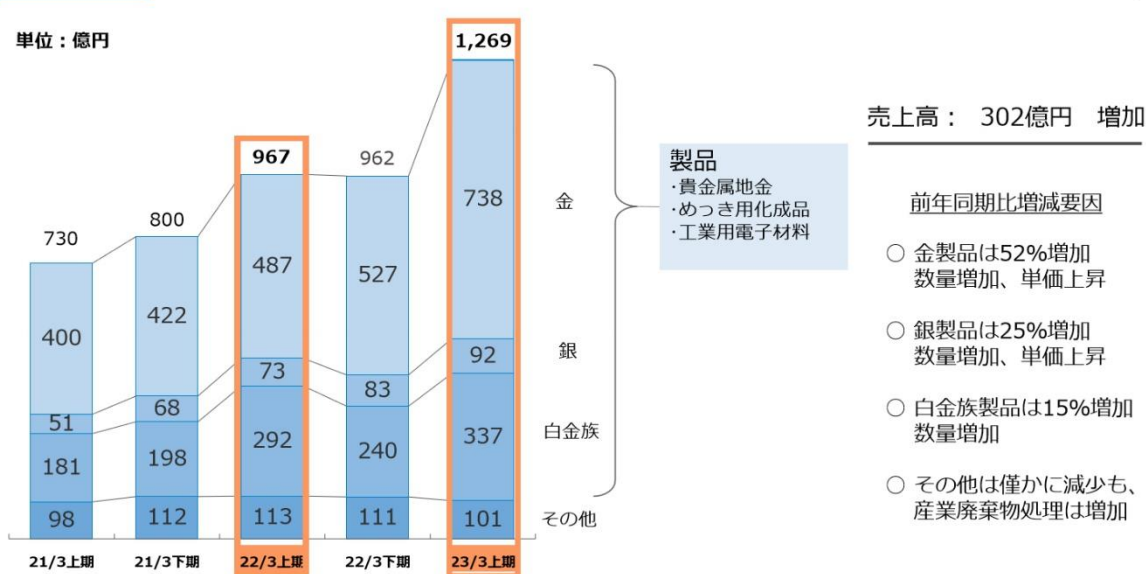
 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

次にキャッシュ・フローになりますが、営業キャッシュ・フローでは四半期純利益による資金の増加に対し、売上債権や棚卸資産の増加による資金の減少が大きく上回ったことなどから、37億円の資金減少となりました。

また投資キャッシュ・フローでは、土地や建物の取得などにより94億円の支出となっております。

この結果、フリーキャッシュ・フローは132億円の減少になり、財務キャッシュ・フローは長短借入金の増加などで123億円の資金増加となっております。

品目別売上高の推移<貴金属関連事業>



Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

11

次に、セグメントごとの売上の内容についてご説明いたします。

まず貴金属関連事業になりますが、当事業の売上高は貴金属地金、ならびに化成品などの当社が製造しております製品が全体の約9割を占め、金、銀、白金族の製品に分類されますので、その内容を中心にご説明いたします。

当事業の上期の連結売上高は、前年同期比31.3%増加の1,269億円となりましたが、その内訳をグラフにまとめております。

金製品は当事業の売上高の6割弱を占めておりますが、前年同期比で52%ほど増加し738億円となりました。これは主力顧客である半導体・電子デバイス業界の好調の他に、宝飾分野での貴金属

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

回収が増大し、販売数量を大幅に押し上げた結果となります。また金相場の上昇に伴い販売単価も上昇しましたので、売上高が大幅に増加したものでございます。

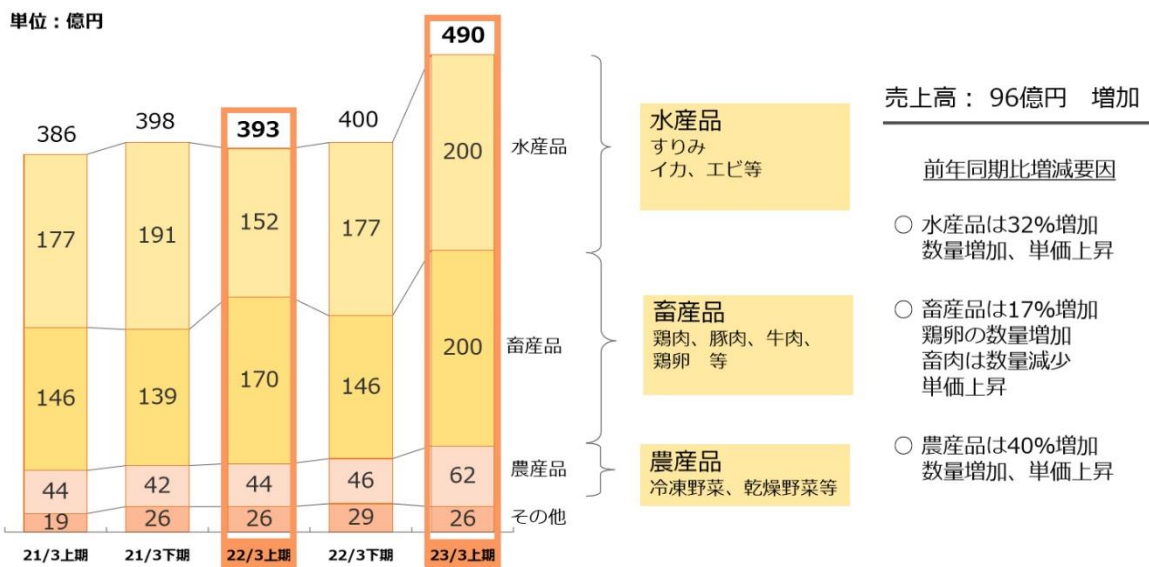
銀製品は前年同期比で25%ほど増加し、92億円となりました。こちらは電子デバイス業界の好調を受けた回収量の伸びにより、販売数量が増加したことが主な要因となります。

白金族製品は、前年同期比で15%ほど増加の337億円となりました。電子デバイス業界の他、触媒業界からの貴金属回収も増加しております。白金族全体では販売単価は下落しましたが、販売数量の増加により、売上高は増加いたしました。

その他の売上高はわずかに前年同期を下回りましたが、電子材料商品等の減少によるものでございますので、産業廃棄物処理の収入は増加しております。

なお、当事業の営業利益につきましては、人件費や燃料費などのコスト上昇はありましたが、数量増加等により売上高が増加いたしましたので前年同期に比べ増益になっております。

品目別売上高の推移<食品関連事業>



Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

12

次に、食品関連事業の売上高になります。

当事業の上期の連結売上高は、前年同期比24.6%増加の490億円となりました。その内訳をグラフにまとめております。

水産品は、前年同期比32%ほど増加の200億円となりましたが、販売数量の増加に販売単価の上昇が重なったため、大幅な増加になりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

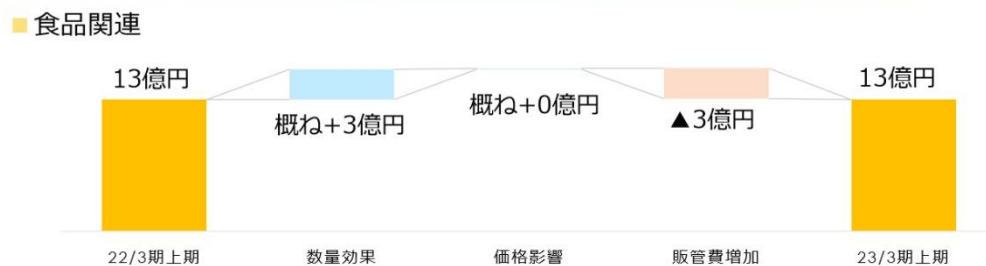
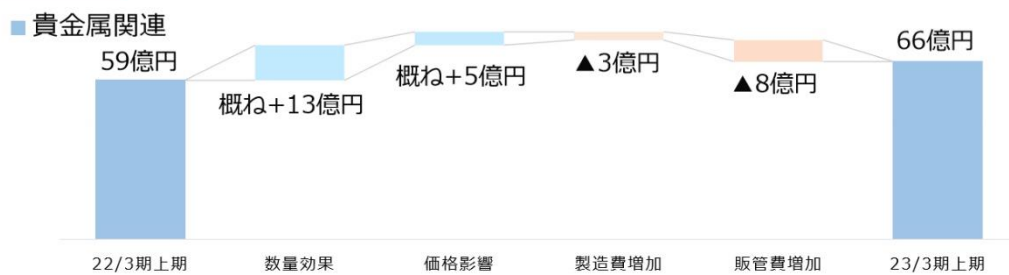
SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

畜産品は、前年同期比 17%ほど増加の、こちらも 200 億円となりました。畜肉は数量減少になりましたが、鶏卵の数量増加と鶏卵、畜肉ともに販売単価が上昇し、売上高は増加しております。

農産品は、前年同期比 40%ほど増加の 62 億円となりましたが、品質や安定供給力などの強みを活かし、冷凍野菜や乾燥野菜の数量を大幅に伸ばすことができました。また販売単価も上昇しましたので、売上高の増加率が高くなっております。

なお、当事業の売上高はご説明の通り増加いたしました。営業利益では運送費や保管料といった販売経費が価格上昇影響もあり増加したことなどで、わずかに前年同期を下回る結果となりました。

○ 営業利益の概要



Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

13

続きまして、営業利益の概要につきましてセグメントごとに少し補足させていただきます。

貴金属関連事業につきましては、営業利益が前年同期比で約 7 億円増加しておりますが、これは売上総利益での増加約 15 億円が寄与したものととなります。

売上総利益の増加は、貴金属リサイクルの取扱数量増加などに伴う概ね 13 億円の増加と、金などの貴金属相場上昇影響による概ね 5 億円の増加が要因となり、労務費、燃料費など製造費用の増加約 3 億円を十分上回る結果となりました。

販管費は、人件費の他、土地取得などに伴う租税公課や手数料等の増加などにより、前年同期に比べ約 8 億円増加しておりますので、営業利益では約 7 億円の増加となりました。

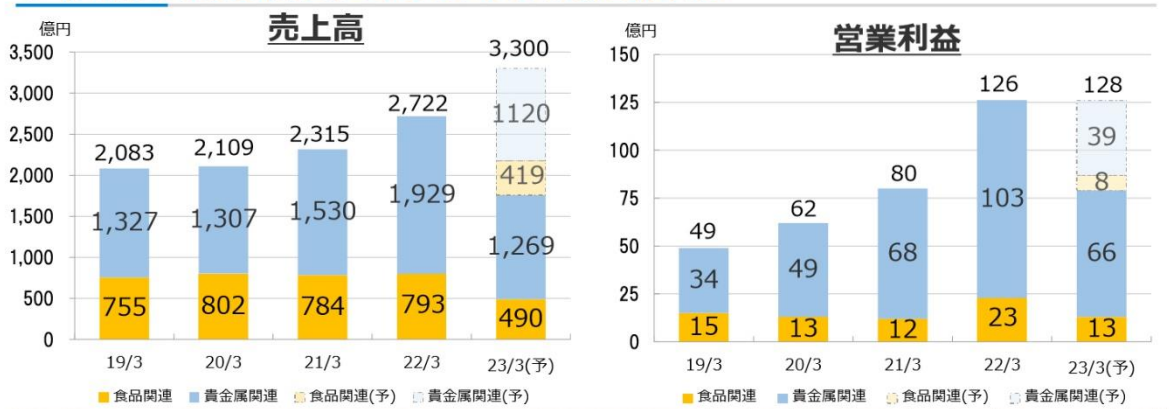
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

次に食品関連事業になりますが、営業利益は前年同期に比べ2,000万円ほど減少しております。販売数量の増加などに伴い、売上総利益は概ね3億円増加いたしましたが、運送費や保管料など販売経費も数量増以外に価格上昇の要因が加わり約3億円増加しましたので、営業利益でわずかに減少となりました。

◎ 連結決算の業績推移と2023年3月期通期予想



2023年3月期通期見通し

2023年3月期上期においては、貴金属関連事業・食品関連事業ともに売上高と営業利益は予想を上回る結果。一方、通期においては、顧客の生産活動の低下・円安・物価上昇などのリスクを考慮し、売上高を除いて、利益面は前回予想を据え置き。

2023年3月期の通期見通しについてご説明いたします。

貴金属関連事業につきましては、主力顧客である半導体・電子デバイス業界は、上期では生産状況が堅調に推移しておりましたが、下期以降では、需給バランスの調整局面として生産状況は一時的に下振れすることが予想され、当社グループの貴金属リサイクル取扱数量および製商品販売数量への影響が見込まれることから、下期の業績見通しは売上高を除き、利益面では前回予想から引き下げております。

これに伴い、通期での利益見通しは結果として前回予想を据え置いております。

需給バランスの調整として、今後、半導体・電子デバイス業界の生産状況は短期的に低下すると見込んでおりますが、自動車やスマートフォンなどの生産回復をはじめ、中期的には半導体・電子デバイス分野の需要増大が予想されますので、当社グループにおきましては中期経営計画の着実な実行を図ってまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

○ (ご参考) 貴金属相場の推移



Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.


松田産業株式会社
 MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

16

本日ご説明の資料には、主要な貴金属相場の推移も載せておりますので、ご参考いただければと存じます。

以上をもちまして、2023年3月期上期の決算に関します会社からの説明は終わらせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com


SCRIPTS
 Asia's Meetings, Globally

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

